



2019年6月発行

【発行】 学び舎江戸東京ユネスコクラブ

事務所：〒187-0032 小平市小川町 1-904-56

http://www.unesco.or.jp/manabiya/

E-mail: manabiya@unesco.or.jp

## 「学び舎ユネスコ2019年度総会」と 「第15回教養・文化講座」を開催



梅雨入りして間もない6月9日(日)曇り空の下、小平市小川公民館において、「学び舎ユネスコ 2019 年度定期総会・講演会・交流会」を開催しました。

第一部の総会では、第 1 号から第 6 号までの議案の一括審議が滞りなく行われ、賛成多数で議決承認されました。総会閉会后、今年で満 30 周年を迎えた「ユネスコ世界寺子屋運動(書き損じはがき回収キャンペーン)」に多大な貢献・ご協力をいただいた 6 団体と 4 人の皆さまに、ユネスコ協会連盟より感謝状の贈呈がありました。



第二部の講演会では、「第 15 回学び舎教養・文化講座」として、昨年一年間小平分水路網約 50km を歩き、観察・調査研究した結果を踏まえ、多摩美術大学名誉教授で当クラブ会長でもある渡部一二氏を講師に、「わがまち再発見」-小平のフィールドミュージアムの可能性を探る-と題した講演がありました。この中で、渡部氏は「フィールドミュージアムは、箱モノの博物館ではなく、地域の自然や人々の営みそのものを博物館とみなすこと。しかも地域社会の発展に寄与することを第一とし、行政と市民一体で形成・運営することに力点が置かれている。」と力強く語られました。



次いで交流会では、30 名近いご参加をいただき、「みんなで健康体操」で体をほぐした後、各テーブル毎に「一分間自己紹介」を契機に、参加者の皆さまとの会話が弾みました。今回は、これまで毎回定期総会・交流会にお集まりいただきながらも、コミュニケーションの場、交流の場が限られ、会員相互はもとより、各教室の受講者の皆様との交流の輪を、いささかなりとも広げるきっかけになったのではないのでしょうか。また、特別ゲスト演奏では、会員の飯田豊彦様の素晴らしいハーモニカ演奏と伴奏に合わせ、懐かしい青春歌謡「青い山脈」をご参加の皆さままで合唱して、楽しいひと時を過ごしました。



続いて「学び舎ユネスコ主宰の各教室」の活動紹介があり、多くの女性に人気を博している「フラワーアレンジメント教室」をはじめ、開催回数 75 回を数える「玉川上水自然観察会」の活動の様子などが、スクリーンに映し出されるスライドとともに報告されました。交流会の最後は、昨年一年間かけて歩き観察・調査研究した「小平市内における玉川上水系分水路網の基礎的環境調査(とうきゅう環境財団助成)」成果の一端が当会の分水路網調査研究チームリーダーの鈴木利博氏より報告されました。



今回の総会・講演会・交流会の会場は、当初の中央公民館から都合により、小川公民館に急遽変更させていただき、且つ手狭な中、ご参加いただいた皆さまには大変ご迷惑をおかけしました。この場をお借りして心からお詫び申し上げます。また、ご多忙の中をご参加いただいた多くの皆さまに、心からお礼申し上げます改めて感謝申し上げます。

今後とも当学び舎江戸東京ユネスコクラブをご支援くださいますようお願い申し上げます。